

6. 手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施

算式

【分子】 ガイドラインに沿った静脈血栓症の予防行為を行った患者数

(肺血栓塞栓症予防管理料算定期数 (患者数))

【分母】 手術を受けた退院患者数

※分母除外項目

1. 麻酔時間が45分未満の手術
2. 局所麻酔のみの手術
3. 同一入院中に2回以上手術

定義

手術を受けた入院患者のうち「肺血栓症及び深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン」に沿った予防行為が実施された件数の割合

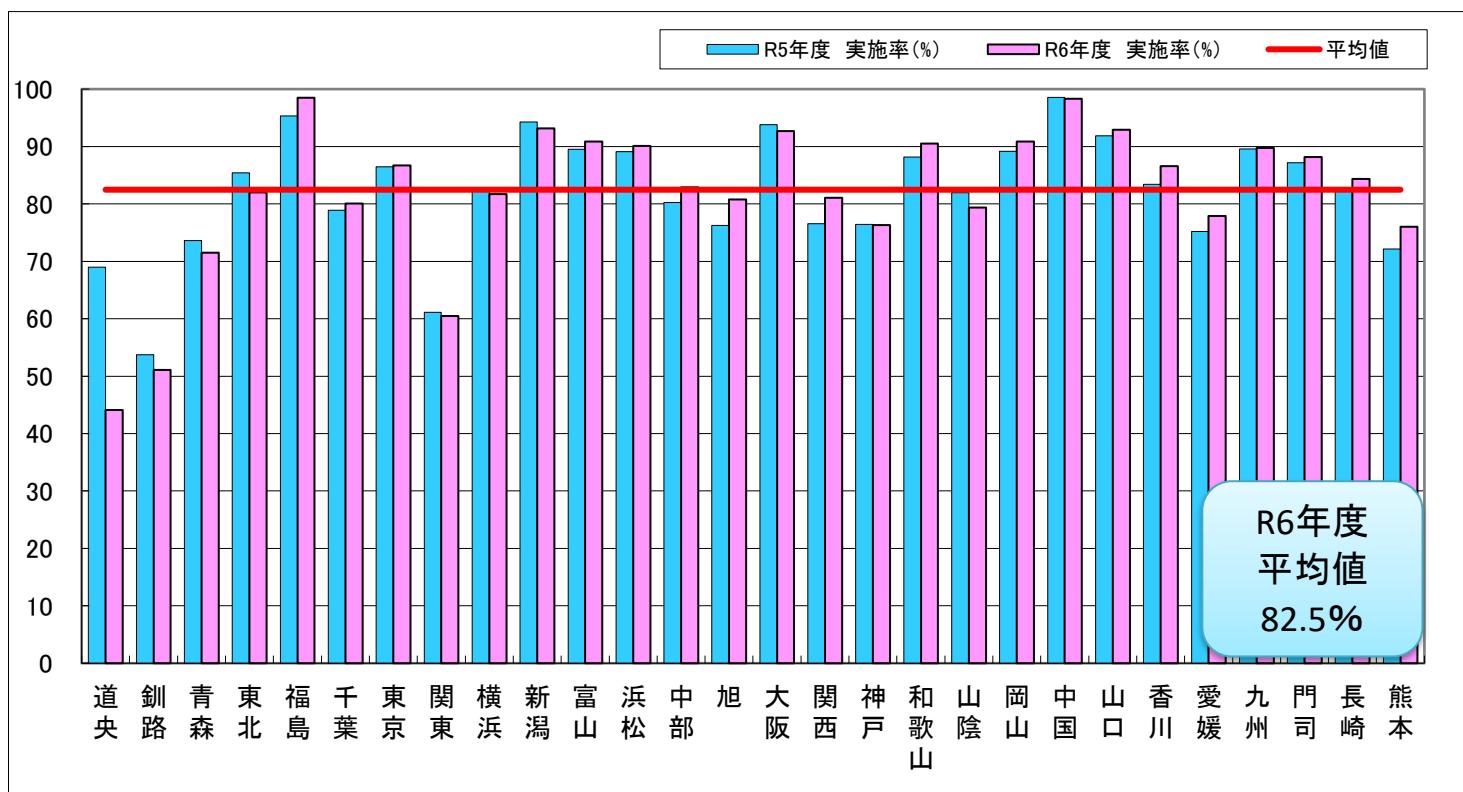
指標の解説

DPCデータより抽出

安全で質の高い医療の提供について、肺血栓症及び深部静脈血栓症の発生予防に対する取組について「肺血栓症及び深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン」に沿った予防行為の実施割合から評価する。

実施率が高い場合には、肺血栓症及び深部静脈血栓症の発生率の低下に積極的に取り組んでいると評価できる。

6. 手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率



No	施設名	R5年度			R6年度		
		分母	分子	実施率(%)	分母	分子	実施率(%)
1	道央	229	158	69.0	93	41	44.1
2	鉢路	1,564	840	53.7	1,528	781	51.1
3	青森	1,009	743	73.6	1,073	767	71.5
4	東北	2,498	2,133	85.4	2,689	2,206	82.0
5	福島	1,023	975	95.3	1,073	1,057	98.5
6	千葉	2,651	2,092	78.9	2,658	2,128	80.1
7	東京	1,122	970	86.5	895	776	86.7
8	関東	4,440	2,715	61.1	4,520	2,733	60.5
9	横浜	4,533	3,749	82.7	4,931	4,029	81.7
10	新潟	591	557	94.2	528	492	93.2
11	富山	638	571	89.5	645	586	90.9
12	浜松	1,045	931	89.1	1,061	956	90.1
13	中部	2,031	1,630	80.3	1,914	1,587	82.9
14	旭	909	693	76.2	984	795	80.8
15	大阪	4,738	4,444	93.8	5,073	4,702	92.7
16	関西	5,000	3,829	76.6	4,980	4,037	81.1
17	神戸	1,103	843	76.4	1,153	880	76.3
18	和歌山	1,745	1,539	88.2	1,897	1,717	90.5
19	山陰	1,780	1,459	82.0	1,970	1,564	79.4
20	岡山	1,843	1,643	89.1	1,887	1,715	90.9
21	中山	2,226	2,194	98.6	2,107	2,072	98.3
22	山口	1,351	1,241	91.9	1,489	1,384	92.9
23	香川	2,481	2,069	83.4	2,528	2,189	86.6
24	愛媛	456	343	75.2	380	296	77.9
25	九州	3,396	3,043	89.6	3,237	2,906	89.8
26	門司	467	407	87.2	481	424	88.1
27	長崎	2,061	1,695	82.2	2,063	1,740	84.3
28	熊本	2,302	1,661	72.2	2,426	1,845	76.1
合計		55,232	45,167	81.8	56,263	46,405	82.5
平均	500床以上	4,678	3,684	78.8	4,876	3,875	79.5
	400床以上	2,252	1,848	82.0	2,307	1,964	85.1
	300床以上	1,494	1,291	86.4	1,621	1,364	84.2
	300床未満	614	496	80.8	667	535	80.2